



明るい未来を信じ

支援の輪をさらに広げましょう

被災地域に1800人の校友が居住 被災地域出身学生は300人

このところ余震も多く、原発の問題もはっきりした展望もなく何となく不安な日々が続いています。しかし一面日本人が忘れかけていた思いやりや、温かい心が甦って来たような気がします。同志社大学の「浜矩子教授」の言われる「自分さえよければいい病」から脱して多くの国民が支援の輪を広げています。早稲田大学では被災地域に約1800人の校友が居住しておりましたが、現在すべての皆さんにお見舞い状を差し上げ被害状況を把握すべく努力しているようです。また学生については約300人が被災地域の出身ですが、連絡が取れない一部の学生を除いて現在のところ死亡者はいないようです。しかし、親や兄弟を亡くしたり、家を失った学生も多くいるようです。大学では学費の減免はもちろん早稲田で学ぶ夢を続けてもらうため生活費の支援も考えているようです。そのためにはかなりの費用がかかります。私達卒業生は今こそ支援の輪をひろげ、後輩や同窓生のため少しでも応援したいと思います。先月お送りしましたサポーターズ倶楽部の支援は4月末迄となっていましたが、**当分間受け付けていますので**、是非ともご協力頂きますようお願い申し上げます。こういう時こそ早稲田人の心意気を示しましょう。金額の多寡に拘わらず1人でも多くの方の気持ちを表すことが被災者の皆さんの心の支えとなるとと思います。ご支援をお願い致します。

東村山稲門会からは10万円の寄付

この度の災害では多くの稲門会が支援の取り組みをしていますが、我が東村山稲門会では4月9日の役員会で「早稲田大学校友会 東北地方太平洋沖地震救援基金」として10万円の寄付をすることに決定し、4月13日に校友会にお届けいたしました。

会員皆様のご了承をお願いいたします。

会からのお知らせ

○ 平成23年6月 定例役員会

日時： 平成23年6月11日（土） 13:00～14:30

場所： ふるさと歴史館・視聴覚室

（15時から雑学講座・17時から懇親会があります）

○ 第73回雑学講座

日時： 平成23年6月11日（土） 15:00～16:30

場所： ふるさと歴史館・視聴覚室

講師： 當摩照夫氏（当会会員 昭45理工卒）

演題： 「新しい時代の流れを造る新技術 有機EL入門」

最近、有機ELという言葉を開くとありますが、これは一体何のことでしょう。私たちの生活にはプラスチック製品が溢れていますが、いよいよ電子部品もプラスチック化されます。有機ELはその始まりなのです。ディスプレイもトランジスタも照明ランプも有機ELに・・・

○ 新入会員

安藤恵尉（あんどう しげよし）さん S36 理工

當麻光子さん S57 文学

○ 退 会

寄本勝美さん （ご逝去のため）

○ 他稲門会等の関係

● 三多摩支部幹事稲門会の引き継ぎ

4月11日（月）三多摩支部の幹事稲門会の引き継ぎの会をサンパルネ会議室で行いました。申し送り事項・決算報告財産目録の確認を行い、無事引き継ぎが終了しました。なお次期支部長は当会の小亀会長から小金井稲門会会長の亙理鐵哉氏、副支部長に国分寺稲門会会長の山賀理氏が就任しました。

終了後、東久留米・清瀬・小金井・国分寺稲門会の皆さん総勢15人の方々と懇親会を行い、この度の災害の支援や各稲門会の実情などについての話し合いが行われ、意義のある楽しい会でありました。

本会からの出席者 小亀会長・風間前事務局長・當間副会長

● 校友会事務局訪問・総長表敬訪問

4月13日（水）小亀会長・當摩副会長が校友会事務局・募金局を訪問。三多摩支部長退任の挨拶およびこの度の災害の支援について当稲門会の取り組みの報告、大学側の対応等についての説明を受けた。鎌田総長にもお目にかかり、當摩副会長から東村山稲門会名入りのドラ焼きを贈呈し、総長は大変お喜びのご様子であった。

● 西東京稲門会第11回総会

5月15日（日） 東伏見キャンパス 10時～ 小亀会長出席

第72回雑学講座 「たまごとマヨネーズの話」 出席者72名 東日本大震災への義援金67,600円集まる

元キューピー（株）役員で、久米川町2丁目に在住の川村弘史氏に講師をお願いしての、第72回雑学講座は4月9日、ふるさと歴史館・視聴覚室で開催されました。予備の椅子を用意して会場いっぱいのお出席者は72名。会員と市民がほぼ同数と、この雑学講座が市民の間に定着した何よりの証となりました。（講座の内容は別掲）会の冒頭、小亀会長から今回の東日本大震災への義援金の呼びかけがありましたが、多くの方々から協力をいただき、集まったお金は67,600円。

翌4月10日、當間・當摩両副会長が東村山市役所・生活文化課に持参、市民参加の講演会で集まった浄財であることと、72回も継続している雑学講座をおおいにアピールしました。

第72回雑学講座



平成23年4月9日
ふるさと歴史館・視聴覚室

「たまごとマヨネーズの話」

講師 川村 弘史 氏

今回の講座は、「たまごとマヨネーズの話」という我々に馴染み深いテーマだった事と、川村氏の親しみ易い、巧みな話術とが相俟って、あっという間に1時間半が過ぎ去った。

たまごの話

日本では江戸時代の料理書の中に卵を食べた記録が残っている。中国では 明の時代、西洋ではローマ時代から卵を食べたという記録がある。ただし、生卵を食べる国民はほとんど日本人だけのようである。

日本人は中国、アメリカ、インド に次いで世界第4番目に多く卵を食べる国民で 何と年間一人平均330個（殆ど毎日）食べているとのこと！最もボーロ・お菓子などに含まれる卵も入れての話。生産量も世界第4番目で年間250万トン。川村氏が来場者に「鶏を飼ったことがある人」と問うと 大勢の方が挙手。毎朝、飼っている鶏の産んだ、まだ温かみの残る卵を卵かけご飯にして食べたことを思い出された方も多かったことだろう。

卵の色は白色レグホンの白と名古屋コーチンの茶色とあり、生産量の少ない名古屋コーチンの方が高級感があるように見えるが栄養価は同じ。卵の相場は産卵期の春先は安い、冬場は産卵率が下がる一方クリスマスケーキなどの需要は増えるので高くなる。産卵の季節と需要のタイミングがずれているのが悩みである。

卵は一個が平均 60 グラム。楕円形の尖った部分は鋭端部、反対は鈍端部と呼ばれ、大きな鈍端部から産み落とされるとのこと。殻の表面は クチクラ層 と言い、蛋白質の一種で ばい菌を防ぐ役目を果たし、殻には 7000 ～ 1 万 7000 個もの穴があいている。殻の裏側には 2 枚の膜があり、膜と膜の間に空気が入って気室ができ、古くなると気室が大きくなる。ゆで卵にした時、殻が剥き易くなる。卵の重量のうち、殻は 10 %、卵黄は 30 %、卵白は 60 % を占める。卵を割った時、卵黄に白いぬるぬるした ひも状 の物が付いているがこれは カザラ と呼ばれ、卵黄を卵白の中央に保持させる役目があるといわれている。抗炎症作用があり、学習効果を上げる働きもあり、栄養価もあるので、今まで箸で摘んで捨てていた方はもったいないとのこと。以前は卵の殻は廃棄されていたが、最近では貴重な資源として利用されている。

卵白 (90 % は水・10 % は蛋白質) 広い利用範囲が有る。・水産練り製品のつなぎ (かまぼこ等)

・一般食品 (パン、お菓子、ケーキ、卵焼き、等) ・接着剤 (コルクや食品の結着剤) ・染物・・・等

卵の殻 (炭酸カルシウム) 吸収されやすいので細粉化され、ボーロ等の中にカルシウム強化食品として利用。

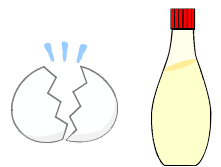
卵黄 (50 % は蛋白質と脂質・50 % は水分) ・マヨネーズ ・化粧品 (クリーム) ・流動食などに利用。

卵殻膜 線維芽細胞を賦活させるので火傷や床ずれの治療・化粧品などに利用されることが期待されている。

最先端の研究

・リポソーム : 卵黄の成分を生成し、副作用の少ない制癌剤の一部として利用が進む。

・リゾチーム : 卵白の蛋白質中の酵素で、風邪薬の一部の成分として利用が進む。



マヨネーズの話

名前の由来 スペインの港町マオンで肉に添えられたソースがフランスで「マオンのソース」と紹介され、その後変遷し現在の「マヨネーズ」と呼ばれるようになった。

マヨネーズ秘話 マヨネーズはドレッシングの一種で、JAS規格で厳しく決められ、着色料・保存料などを使ったものはマヨネーズとは呼べない。マヨネーズには卵黄型と全卵型があり、キューピーでは卵黄型。全卵型はアメリカンタイプと呼ばれ、卵黄が少ないので白っぽい。あの独特な容器は五層になっていて、酸化しにくい構造。またキャップは二重で、その中は細くなったり、星型になっていて使い易く作られている。

キューピーの歴史 ・(1919年) 食品工業(株)設立～キューピーの前身 ・(1925年) マヨネーズ発売
・(1943年) 戦争のため製造中止 ・(1948年) 製造再開 ・(1957年) 社名をキューピー(株)に変更。
戦後、生活の洋風化に伴い、サラダの食文化が普及し多くの企業がマヨネーズ業界に参入、卵白も利用出来てコストが安くなり、大量に生産されるようになった。

その他

アレルギーの話 : 卵、牛乳、そば、小麦などの中にアレルギーの原因となるアレルゲンが含まれる。社会的使命感でアレルギー対策を考えているが、未だ出来ていない。近い将来、遺伝子の研究などにより対策が出来るかと期待している。

特定保健用食品 : 以前は厚生労働省の管轄、今は消費者省の管轄。医薬品の認可基準並みの多くのデータを提出する必要がある。許可された食品には人形のようなマークが付いている。キューピーでは「キューピーディフェ」というカロリーを半分にし、コレステロールを下げる商品を発売。

鶏のとさか : 鶏のとさかからヒアルロン酸を抽出。保水力・弾力性に富むヒアルロン酸は衰えた皮膚に潤いを与えることから化粧品に、また関節の潤滑液が少なくなった膝の痛みにも良く効き、白内障の手術等にも使用されている。

最近では乳酸菌を醗酵して生産するヒアルロン酸が食品用として利用されている。

まだまだ話が尽きず、名残り惜しかったが、新製品の「キューピーライト」等のお土産をいただき、皆さん帰途についた。当日は、どの家庭でも夕食のテーブルに「マヨネーズ」が並び、お聞きした話が話題に上って、楽しいひと時を過ごされたことでしょう。

(滝来京子 記)



4月号の井原さんのエッセイ「入試の危うさ」を読んで

高橋 正夫 (昭35年 政経)

日本の教育の危機が叫ばれて久しい。戦後60余年を経過して漸く安部内閣が強い問題意識の下に「教育再生会議」の答申が閣議決定され、新しい方向に踏み出すかに見えたがその後、改革は全く停滞したまま、先が見えてこない。戦後、長期にわたってもの創りで世界をリードしてきた日本がいまや電子産業でも韓国に遅れをとり、ソフト開発の分野では欧米に水を空けられつつある要因に、深く教育問題がかかわっているにもかかわらずである。

一般の大学入試不正問題は日本の教育の在り方に波紋を投ずる一例と思ったが、マスコミの論説には試験制度の本質を突いたものが見受けられなかった。ITの時代にいたずらにカンニングを防ごうと警護体制を強化するなど無駄なことではないか。問題の本質は今の試験制度を見直すべき時であり、そのきっかけを与えてくれたとおもう。〇×教育の優等生の頂点が東大法学部であり、そのなれの果てが財務官僚・外務官僚です。彼らのDNAである〇×は前例が正解となつて、前例を重視し応用問題を解かない、したがって改革ができない最優等生が日本の国家を牛耳っている。そんな日本に未来があるだろうか。日本が今や世界の潮流から大きく遅れをとりつつある根っここの問題に〇×教育の弊害があるとおもう。日本人は世界一英語が下手とよく言われるが、中学から英語の文法の試験を重ね、ネイティブでも出来ないような正解を出す優等生が英語をしゃべれないという現象は教育の問題に根ざしており、もう漫画そのものではないか。世界に求められるのは考える力ー創造力、コミュニケーション能力そして教養力。入試問題も〇×でなく、考えを引き出す問題にすべきであろう。

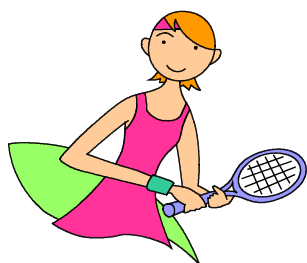
たとえば「今回の大震災で日本で外国人が70%以上減っています。あなたがもし招致勧誘委員に選ばれたとして、原発災害の正しい知識をどのように説明して日本に勧誘するか、また日本側に安心できるような受け入れ体制の改善案を考えてみてください」などの設問だったら受験生の創造力、将来性をテストするにふさわしい例になる。こういう設問ではカンニングなど全く無意味になる。仮に全文真似してみても、二次面接で質問すれば一発で見わけられる。現在の監督官付き試験制度そのものがなくなるところだろう。日本人の弱点とされる発信力、コミュニケーション能力も現在の教育制度では育ちにくい。外交だけでなく、ビジネスの世界でも発信力のない人間が壁の花に追いやられる。アメリカではパワーランチという言葉が一般化しているが、昼食を取りながらの丁々発止は本音の世界だ。欧州では一般にアフターファイブの会食では仕事の話は野暮としてしない。個人を認め合うのは歴史や美術、音楽などの話題を通じての世界となるが、日本人ビジネスマンがはたしてどれだけ彼らと付き合っ仲間に入れてもらえるものだろうか。あるいは依然としてエコノミックアニマルと言われて軽蔑されているのか。世界に通用して日本を認識させる人材と全問正解型〇×優等生として世に送り出される人材とがどうしても結びつかない。そんな教育をいつまでも引きずっていいものだろうか。つくづく疑問に思った次第である。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

テニス同好会

世話人 田島



4月の例会は、4月11日(月)、久米川コート 4番で行われました。参加者は、市川(彰)夫妻、井手、滝来(京)、當間、戸田、福田(昇)の各氏と田島の8人でした。合宿は中止となりましたが、まだ、その余韻が残っていたのか多くの参加がありました。ダブルスでトーナメントの勝抜戦を行い、熱戦が展開されました。

また、予備日の4月18日(月)にも有志を募り練習を行いました。市川(彰)、滝来(京)、戸田、福田(昇)の各氏と田島の5名が参加しほとんど休む暇もないほどプレーを堪能しました。この日は滝来さんの活躍が光りました。

5月の例会は、小菅さんのご好意で下記のとおり休日が確保できましたので、是非ご参加ください。(今後の予定)

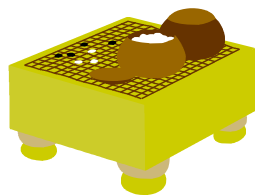
5月 8日(日) 9時～11時 運動公園 Cコート(予備日 5月15日(日)時刻、場所は左記に同じ)

6月11日(土) 11時～13時 久米川コート 3番

(予備日 6月19日(日) 9時～11時 運動公園 Bコート)

囲碁同好会

世話人 福田 高 鷲



●「第22回東村山稲門会囲碁大会」が、4月16（土）、市民センター別館第6会議室で開催されました。

参加者は、いつもよりやや少なく10名。A、Bの二つのグループに分かれてリーグ戦で熱戦が繰り広げられました。その結果、Aグループでは、堀田さんが3勝1敗で大混戦を制し優勝。Bグループでは、杉山さんが3勝1敗で見事初優勝されました。杉山さんは、次回より昇級されることになりました。皆さん、お疲れ様でした。

<参加者／敬称略>

Aグループ……福田・鈴木・堀田・佐久間・高鷲

Bグループ……野村・江藤・中川・田島・杉山

○次回は、6月の第三土曜日を予定しています。詳細につきましては、次号の「ニュース」でお知らせします。

ウォーキングの会

世話人 高 橋

ウォーキングへのお誘い ♪♪

稲門会の皆様の交流を広げる機会です。当日都合がつく方はお気軽にご参加ください。事前の予約は不要です。

緑薫るさわやかな武蔵野の森林浴と狭山茶の広大な茶畑を歩くプランです。
今回は行程9.5 kmと少し長いコースですが、ゆっくりとしたペースで会話なども楽しみたいとおもいます。



日時 : 5月22日 — 今回は日曜日です。

集合場所と時間 : 東村山駅所沢方面ホーム中ほどに9時半までに集合
(9時33分の電車に乗る予定です)

コース : 「加治丘陵と狭山茶のふるさとを歩く」
→ 所沢駅乗り換え→仏子駅—林間のサイクリングコース—桜山展望台—豊泉寺—狭山茶畑(茶業公園)—日本一の道標—龍円寺—仏子駅

見渡す限りの茶畑です。味は狭山という秘密も探りたいとおもいます。昼食はおにぎり持参などで、青空での昼食を期待したいとおもいます。

雨天になる場合は中止としますが、一応当日8時までに高橋宛ご確認ください。

ゴルフ同好会

世話人 井 垣

第29回2011年春季ゴルフコンペ復活開催します。

東日本大震災のために3月開催を中止しました、第29回 東村山稲門会春季ゴルフコンペを6月10日(金)に西武園ゴルフ場で、下記の要領で行います。多数の方のご参加をお待ちしております。5月15日(日)迄にお申し込み下さい。



記

開催月日 : 平成23年6月10日(金)

開催場所 : 西武園ゴルフ場

スタート : 8:35 アウトコース

費用 : 16,500円(昼食代込み、70才以上利用税免除)

参加費 : 4,000円(賞品代+パーティー費)

参加申し込みされた方には別途実施要領ご案内いたします。

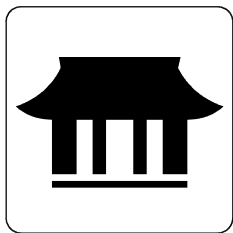
知っ得ゴルフ 9番ホール —ハザード—

「ハザード」とは、バンカー(芝や草を取り去り、代わりに砂や類似のものを入れて作られた凹み)とウォーターハザード(海や湖、川、溝、排水路などの開渠、その他これに類するもの)を言います。水の有無は関係ありません。ラテラルウォーターハザードとは、その後方に球をドロップすることが出来ない地形になっているウォーターハザードのことを言います。バンカーの縁やバンカー内で草に覆われている地面はバンカーの一部ではありませんが、ウォーターハザードの標識内の地面は、ウォーターハザードの一部です。

(クラブのソールを地面に付けてはダメ)

『ハザードみたいだからって、顔を突っ込んだり、ゴソゴソ掻き回したりしないでよ、お客さん。モラルハザードだよ。ホントに。』

郷土史の会

世話人 江藤
伊藤

郷土史の会の5月の会合は、市内の鎌倉街道の跡を訪ねてみたいと思います。歴史館に来ていますと、時々鎌倉街道の跡を訪ねて北や南から長い道のりを歩いて情報を求めに来る方々がいらっしゃいます。

中世の道鎌倉街道、そして古代の道東山道武蔵道、東村山にはこの二つの幹線道の痕跡がはっきりと残されています。

今回は市内に残されたこの街道の痕跡を訪ねてみたいと思います。

いま市内の府中街道は、4車線化のために大きく変わろうとしています。九道の辻も道路整備のために改変されようとしています。

府中街道を中心に市内を歩いてみようと思います。

新小平駅からふるさと歴史館まで約3kの道のりです。ゆっくり歩いて行きますので安心してご参加ください。

なお当初予定しておりました川越散策は、余震の影響も懸念されますので7月に延期しました。7月のニュースにてご案内いたします。

記

日時：5月21日（土）9：00～12：00

集合場所：新小平駅前

解散場所：ふるさと歴史館

歴史館で鎌倉街道に関する展示説明を受けたいと思います。

府中街道に沿ってゆっくりと歩いて行きます、途中からでもご参加ください。

園芸の会

世話人 當摩



4月19日に、1月に交換したさくらそうの開花株の鑑賞会を行いました。参加者はいつものメンバー12名。今回より昭40政経卒の池田孝さんが参加されました。

昨年は異常な猛暑の夏でしたが、そのためしっかりとした健全なさくらそうの芽を作れなかったのと、この3月の低温で、ほとんどの人が非常に成績の悪い中、さすが藤澤リーダーは見事な開花株を大量に持ってこられ、皆の度肝を抜きました。やはりポイントは土作り、日の当て方、そして適切な肥料と言うことで、要は手入れを怠らずと言うこと、皆納得でした。そんな中で健闘した當間さんが人気投票の結果、1位、2位を独占、次に木谷さん、長井さんの順でした。その他の人は来年のリベンジを誓い合いました。

次回の園芸の会は、下記の日程で、春蒔き草花の苗の交換会を行います。いつもと開始時間が異なり、午前10時からですので気をつけて！ 多くの方の参加を期待しております。

日時 平成23年5月11日（水） 午前10時～12時

場所 東村山市市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣



第55回「稲酔」俳句会は4月23日（土）午後1時から恩多ふれあいセンター和室で開催しました。

当日参加者は栗島三郎、井垣稲雀、風間和夫、小永井哲哉、高部糸行、内藤慎の6名。参加予定の丸本北窓、幸田瑞雄氏は、急用のため投句参加となり、出田麦穂、戸田梶、八木竜湖氏と併せて投句者5名。

東日本大震災のあとだけに、この未曾有の事変に関する句がやはり多く出され、兼題の「霞」の句が霞むばかりの勢いでした。

出席者の互選による高点句には

対岸の車列とろとろ遠霞
踏切に電車待つ間の花吹雪
田を返す広き背中の父の影

稲雀
慎
麦穂

が選ばれました。

なお、次回からは、句会の場所を久米川駅前の「丸藤」2階とすることになりました。

お店のご協力を得て句会場と懇親会場が1カ所で出来ることになり、移動の手間が無くなり、その分、ゆっくりと充実した稲酔俳句会が出来るものと思われます。

第56回は6月25日（土）午後2時から「丸藤」での開催となります。

兼題は《蟻》（あり）〔山蟻、蟻の道、蟻の門渡り、蟻の塔、蟻塚〕です。

（稲雀 記）

カラオケ同好会

世話人 内藤



4月例会は9日に開催。震災のニュースが飛び交う一夜、5名が集まり元気に大声で歌い、日ごろのストレスを吹き飛ばしました。

参加者は井垣氏、井手氏、高部氏、南湖氏、内藤の5名でした。7月には例年通り新宿へ出張カラオケを開催する予定です。楽しみにお待ちしております。

〈今後の予定〉

5月 7日（土） 19：10 カラオケランド ズー

6月11日（土） 19：10 カラオケランド ズー



紅野先生のこと

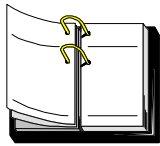
武井勇治（昭和44年 教育）

昨今の大学生の就職難について、精神科医の香山リカさんが新聞紙上で指摘していることがあります。それは企業によっては、募集は即戦力になる経験者に限定していることがその一因ではないか、ということです。香山さんは「自分も先輩たちの手を焼かせながら、ちょっとずつ経験を積んでいった。それなのに今になって、『経験者しか取りません』などというのは約束が違う気がする。苦しい時代でも、新人を育てるのは先輩の役目。違うだろうか。」と、疑問を投げかけています。私は香山さんの考えに同感の意を持つとともに、40数年前の自分の就職をめぐるあれこれを思い出してみました。

近代文学の紅野敏郎先生は1年時の最初の講義で、「教育の国文では一般の企業への就職は、まず難しいと考えた方がよい。」という意味のことをさりげなく話されました。こちらは大学に合格して、どういう学生生活が始まるのかと期待と不安の入り混じった状態であり、「就職」などという言葉とはおよそ無縁なわけです。その時は何故そんなことをいきなり言うのかという疑問と、軽い反発を覚えました。しかし3年後、現実には自分の就職を考えたとき、求人票を見ると一般の企業は学部指定があって、教育学部は非常に狭き門になっていたわけです。そうすると、院に進んで研究者か、国語の教員か、出版関係か、まずそんなところに落ち着くことになります。その時に紅野先生の言葉の真意が理解できたように思いました。つまり国語国文科という、およそつづしの利かない所へ来たからには、本気で勉強して自分の専門を持ち、実力を付けないと社会では通用しないということだったのでしょう。紅野先生の言葉を聞いて、商学部へ行きたかった仲の良かった男はあまり講義には顔を出さずに、2年後商学部へ転部していきました。彼にとっても適切なアドバイスだったということになります。

また紅野先生には実証的な文学研究の方法を指導していただきました。2年時には卒論作成のためか、小論文が課されました。私はさほど興味があつた訳でもないのですが、室生犀星の作家論を書こうとしました。構想としては二つほどの作品論に犀星の評伝でも付けて一丁上がり、くらいに考えていました。今思えば高校生の出来の悪い読書感想文の如きものと、引用ばかりの評伝を提出したわけですから、お恥ずかしい限りです。先生は、「文学研究」というのは現在そのテーマについてどこまで研究が成されているか、またどのようなことが研究課題とされているかを調べることから始まるのであることを指摘され、論文の中にたとえ一つでも独自の発見、独自の考察があれば価値のあるものであると面談で諭してくれました。私のような凡庸な、何か勘違いしてきてしまったのではないかとと思われるような学生にも丁寧に教えて下さったのを思い出します。

私は卒業後国語の教員をしましたが、生徒から質問された時、面影が浮かぶ先生がいます。中国文学の松枝茂夫先生です。講義の中で別に学生が質問をする訳でもないのですが、ご自分で解釈をされながら、「ここはこんな風に考えればいいと思うのですが、本当のところよくわからないのですよ」などと呟かれるのでした。松枝先生が中国文学の碩学であることは、私ども学生も知っておりますので、どう考えればよいのか戸惑ったものでした。唯言えることは、秀才が何十年と研究してもわからないこともあるのなら、凡庸な大学生など何もわかっていないということでした。その後実際に教壇に立ってみて「わからない」というのはなかなか難しいものですが、松枝先生のことを思うと自分に素直になれたように思います。



今月の行事（5月）

- 7日（土） 5月度役員会
5・6月度合同お誕生会
カラオケ同好会
8日（日） テニス同好会
11日（水） 園芸の会
21日（土） 郷土史の会
22日（日） ウォーキングの会

6月（前半）の予定

- 5日（日） 音楽同好会
10日（金） ゴルフ同好会
11日（土） テニス同好会
6月度役員会
雑学講座
カラオケ同好会



訃報

当会会員寄本勝美さん（70歳）には3月28日逝去なされました。
通夜は4月1日 葬儀は4月2日中野宝泉寺で行われました。心からご冥福をお祈り申し上げます。
なお、会則により生花をお供え致しました。

寄本勝美さん 早稲田大学教授・（地方自治・環境政策）

大学院在学中に川崎市清掃局でゴミ処理の現場を体験。40年以上にわたってゴミ処理問題、リサイクル政策についての研究、提言をつづけた・早稲田大学では政治経済学部長、常任理事を務め、日本地方自治学会理事長、廃棄物学会会長を歴任。市民・消費者団体のアドバイザーとしても活躍した。当会の総会でも講演を頂いた。

編集局だより

○次号の原稿締め切りは5月26日（木）です。よろしくお願いいたします。

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

踏切に電車待つ間の花吹雪 内藤 慎
陽を浴びて石楠花紅く咲き誇り 丸本 北窓
春の雲意識もどらぬ人とあて 八木 竜湖
霞たつ幸住むはあのあたり 栗島 三郎
東北の突堤となれ花前線 孫を子の名でよび遊ぶ四月馬鹿
春宵や老いに優しき新駅舎 粟島 三郎
霞む海眼こらして地震の漁夫 井垣 稻雀
春の海還れぬ魂の揺蕩いて 井垣 稻雀
突っかかり突っかかりして春落葉 出田 麦穂
余震止みしじま深まるおぼろ月 蒲公英や広く根を張れ福島に 風間 和夫
先頭は上級生や春疾風 菊田 一平
髪染めてファッション極めて春の街 見覚えの雛がぼつんと瓦礫山 避難所の裏に雉子の声しきり 幸田 瑞雄
地震津波荒れし夜明けの春寒し 老ゆる身に何を急かすか花吹雪 小永井 哲哉
ミルクの輪残るびん底水温む 春宵や卵のぬくみは掌のぬくみ 高部 糸行
バス停の壊れしベンチ花の宿 並木萌えシヨーウィンドーに背を正す 戸田 梟
新緑やコロの描く景と見え 一面のたんぽぽ空へ連なれり 前号掲載句訂正 大野 恵峰
淡雪を鋤き込み進むトラクター